

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2021. No.366

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

新しい1年が始まりました
コロナ禍での試練や不安は続きますが
祈り信じて互いに助け合っています

Contents

追悼 堀内 顯 創立理事長 P.2

岡山で高校生による世界食料デーが実現 P.3

私から始める特集

家庭で職場で学校で支援の輪を広げよう P.4-5

チャイルドサポーター・ウガンダ報告 P.6

支援して下さる皆さんの広場 P.7

写真:ウガンダのアリスさん(P.6に記事)

追悼

堀内 顯 創立理事長



わたしから始める、世界が変わる

ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）創立理事長の堀内 顯^{あきら}先生が2020年12月11日に天に凱旋されました。

堀内先生は1981年、アメリカのFHI（国際飢餓対策機構）の総裁であった山森鉄直氏と出会い、日本国際飢餓対策機構を設立されました。山森氏はこの活動はアメリカだけが働いていたのでは広がっていかない。日本にパートナー団体が必要と考え、日本で働いている宣教師に助言を求めたところ、どの宣教師も大阪八尾の堀内牧師を推薦されたそうです。

堀内先生はすぐに理事会を組織され、日本中に支援を訴えられました。まだNGOが一般的ではなかった時代でしたが、多くの人々や組織を巻き込み、支援の輪は大きく広がっていきました。

さらに他の国にパートナー団体が必要であると考え、1989年フィリピン・マニラで行われたローザンヌ国際会議に出席された時に、旧知であった韓国の尹^{ユン}牧師に働きかけ、翌年に韓国国際飢餓対策機構（KFHI）が生まれました。現在KFHIは韓国で最も有名なNGOの一つです。さらに香港、台湾にもパートナー団体を生み出しました。

堀内先生は80年代に動乱状態が続いていたタイやインドにも度々足を運ばれました。そこで一つの光景を目にします。それはカルカッタのホープアカデミーで、一人の男の子が小さなパンを持って帰ろうとする姿です。学校の指導は、学校で出された物は家に持って帰らないというものでした。しかし、規則を破ってもお腹をすかしている弟や妹に、パン

を食べさせてやりたいという優しい気持ちを持った子どもに出会い、心が大きく揺さぶられたと語っておられました。先生は後にそのことを「飢餓対策ニュース」で次のように記しておられます。

途上国で、希望の見えない世界に光を灯す人々とたくさん出会いました。二つのパンの一つを、あるいは一つのパンの半分を、二日も何も食べずに水だけで飢えている妹や弟にやろうと、自分ではがまんして持ち帰ろうとしている子どもたちを見ました。自分が教えてもらった技術で作った田の収穫を見て、喜んで他の村人にお米を分けている農夫も見ました。書けるようになった文字をながめ、読めるようになった本を大声で読んで、人に聞かせて喜ぶ婦人たちの集まりにも行きました。貧しさの中から自立して生活できるようになった多くの人々の感謝の言葉も聞きました。これらの人々にとって、今の世界は決して冷たいものではありませんでした。皆さんの温かい心が彼らを励まし、遠くにいるけれど温かさを近くに感じる世界です。（2001年6月号）

生前、先生が私に言われた一つの言葉が今も私の心に鳴り響いています。

「どんな状況にあっても、君は貧しい人々、最も小さな人々の立場に立って考えなさい。それが神様が望んでおられることだから」

ハンガーゼロ理事長 清家弘久



岡山で高校生による「世界食料デー大会」が実現

2020年10月25日(日)、ハンガーゼロ・スクールアンバサダー第1期モデル校の岡山・創志学園高等学校の生徒の皆さんが近隣の学校にも参加を呼び掛け、世界の貧困と飢餓について発表し合う「高校生による世界食料デープレゼンテーション大会」を開催しました。コロナの影響でオンラインでの開催となりましたが、岡山県内のみならず兵庫県神戸市からも参加があり、全8校12チームがそれぞれ10分間のプレゼンを行い、最後に審査員より最優秀賞と優秀賞が発表されました。(表参照)企画・運営を行った創志学園高等学校のスクールアンバサダーの皆さんからは以下のコメントが寄せられています。



プレゼン大会開催の挨拶

■ 世界食料デー実行委員長 齊藤来実さん

今回初めてイベントの企画・運営を行い、高校生ではなかなかできない経験をしました。そして、今回のプレゼンテーション大会を通じて、他の高校生がどのような「食」に関する取り組みをしているのかを知ることができ、今後私たちが授業で取り組んでいく活動の参考にできると感じましたし、岡山県の高校生で協力しあって日本や世界の食料問題を解決していく取り組みをしていきたいと感じました。

■ 担当教諭 滝沢俊一氏

生徒発案の企画がここまでの完成度で当日を終えることができ、生徒も自信を持つことができたと思います。今回のイベントで生徒はもちろん、岡山県全体で高校生の食料問題に関する取り組みが活発になって欲しいと思います。そして、来年以降も継続して続いていくイベントになって欲しいです。

2020.10.25 高校生による世界食料デー プレゼン大会			
No	内容	表彰	参加校
1	Not all of ゴミ is ゴミ		総社南高等学校
2	「子ども食堂」で地域全ての人を繋げる ～高校生の私達にできること～	最優秀賞	岡山学芸館高等学校
3	green consumer 製造と消費に責任を	優秀賞	岡山県立倉敷古城池高等学校
4	肌痕をなくすために		岡山県立高梁城南高等学校
5	肌触減らし隊		岡山県立瀬戸高等学校
6	コロナ禍で私たちが考えたこと		岡山県立岡山一宮高等学校
7	地球の未来に責任を持つための教育 ～日本における異文化理解教育の 在り方を提言する～		岡山学芸館高等学校
8	フェアトレードを広めるために		岡山県立岡山一宮高等学校
9	ラマダンから学んだ食の暮さ		岡山県立倉敷古城池高等学校
10	JKpostについて お土産の削減をなくしアイデアも高校生から全国発信		おかやま JKnote
11	私のドギーバッグよ世界を救え!		岡山県立倉敷古城池高等学校
12	缶詰は世界を救う		神戸国際大学附属高等学校(ゲスト出演)



当日は地元のテレビ局も来訪、新聞でも取り組みが紹介されました

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty





大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
 ロングライフグループ拠点: 北海道 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 千葉 / 静岡 / 愛知 / 大阪 / 兵庫 / 京都 / 大分 / 沖縄 / 中国 (青島) / 韓国 / インドネシア (ジャカルタ)



ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘

わたしから始める、世界が変わる

家庭で職場で学校で支援の

生活の中から “ 始める ”

●フェアトレードの商品を購入する

開発途上国の生産者から適正な価格で買い取られた商品などを扱う協力企業(株式会社キングダムビジネス)から買って支援する。昨年企画されたボリビアの伝統生地を使ったマスクは大好評となり、コロナの影響で生活が困窮している人々への支援となりました。人気のハンガーゼロ・コーヒーやチョコレートなど誕生日プレゼントや贈り物にぜひ活用ください。



P.8 に今月の商品案内が掲載されています。

【購入者の声】

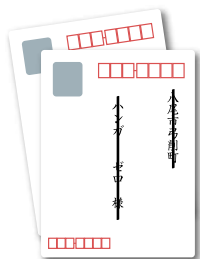
- ボリビア生地のマスクは思っていた以上に素敵なものでした。布地もしっかりしているし、口元に余裕もあって楽です。大好きな賛美歌も口ずさめます。ボリビアは主人の生まれ故郷です。(東京都小金井市 M.Y)
- とても素敵なクリスマスカードだったので追加注文します。私の夫は「このカードもらった人は絶対喜ぶよ!」と申しておりました。(東広島市在住 Y.N)
- クリスマスカードを用意しなければと思っていた時にハンガーゼロニュースに広告があり申し込みました。手元に届くのが楽しみです。(大阪府吹田市 A.S)

●書き損じ年賀はがきで応援する(古くてもOK)

ポストに未投函のはがきや未使用切手を支援活動に用いさせていただきます。かもめーるのはがきや収集されていた記念切手類なども大歓迎です。国内外の通信費軽減になります。

【2020年7月～12月実績】

- はがき：44,630 円分の切手に換金。
- 未使用切手：84,717 円分。
- (注) はがきは日本郵便のものに限定



●『本 de リンク』で支援する

ハンガーゼロ愛知事務所では送られた本や CD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に使わせて頂いています。引越し、大掃除の際にもぜひお送りください。ご利用の際はまず愛知事務所へお問合せく

ださい。

【2020年7月～12月実績】

53,190 円(本 399 冊、CD 1,841 枚、DVD43 枚) 破れや汚れ、書き込みのある本、個人出版、文学全集は換金対象外です。CD 類ケース割れ、ジャケット、歌詞カード不備、海賊版、個人用、カセットや VHS ビデオも不可。

●募金箱を家庭や職場に置く

小銭でも、飢餓・貧困に苦しむ人々にとっては何倍もの価値を持ちます。募金箱は、各事務所にお問合せください。P.7 に報告掲載。



●ハンガーゼロ自動販売機を利用・設置する

飲み物を買くと1本につき10円がアフリカの人々の支援に用いられます。また防災対応のハンガーゼロ自販機を設置していただくと、緊急災害時の備蓄用としてパンの缶詰、水、各96個が無償で提供されます。現在、全国で109台が稼働中です。さらに設置してくださる方を求めています。

【2019-2020年度募金実績】

設置 109台 3,256,838円

設置のご相談は東京又は大阪事務所までご連絡ください。設置費用は必要ありません。飲料の補充や空き容器の回収も業者が行います。



昨年設置したフィットネスのEFFORT

●使用済みハブラシを集めて国際協力

テラサイクルの「ハブラシ回収プログラム」を通じて当機構に募金(1本につき2円)ができます。回収対象にならないタイプもありますので、詳しくはホームページをご覧ください。



●ネットを活用して支援の輪を広げる

自分のホームページやブログ、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどの SNS (ソーシャルネットワークサービス) を活用して、飢餓の現状を伝え、支援の輪を広げてください。またライブ配信や講演動画もあるハンガーゼロ YouTube チャンネルや新たなハンガーゼロの LINE (P.8 に記事)をお知り合いにぜひご紹介をお願いします。

のチャレンジ

Child Supporter
チャイルドサポーター



輪を広げていきましょう！

子どもたちの希望になろう

参加や計画して “始める”

●世界食料デー大会を開催する

2020年の世界食料デー大会は、コロナの影響で例年に比べて大会の開催が激減しました。それでも、各実行委員会で入念に感染対策を施して開催を実現し



2020WFD 東大阪大会

た大会(仙台・京都・東大阪・芦屋)もありました。これらの会場では人数制限のためにオンライン中継も行われました。また、オンラインのみでの開催に取り組んだ滋賀、WORLD FOOD DAY + GOSPEL(東京)や横浜、岡山(P3.参照)は新たな大会方式の試みとなりました。また、開催を見合わせたところでもグループや個人で募金に取り組んでくださったところも多数ありました。これからは様々な形で世界食料デーの運動が広がることを期待しています。

●オンラインで国際協力を学ぶ

啓発事業部では、コロナ禍での試みとしてオンライン会議アプリのZoomを活用して「国際協力WEBセミナー」を昨年6月から9月にかけて開催しました。対面のセミナーでは参加することのできない地域・年齢層を超えて10名が参加されました。毎回質疑応答やグループディスカッションもあり、啓発部門のスタッフとともにフィリピンやアフリカの駐在員も加わって、支援地の現状や専門的見地から話を聞き、国際情勢や国際協力について理解を深めることができました。今春(日程調整中)には、第2回目の開催を予定しています。国際協力の働きに関心をお持ちの方、また世界にある飢餓や貧困の解決のために日本国内で何か始めてみたいと願う方は、東京事務所までお問い合わせください。

TEL:03(3518)0781 メール:tokyo@jifh.org

担当:鶴若・中村

●チャイサポハロハロでサポーター同士で交流

チャイルドサポーターが集まって交流する集い「チャイサポハロハロ」を開催しませんか。チャイルドサポートを通じて嬉しかったことやサポーターになった思いなど、サポーターさん同士で楽しく分かち合える場です。この集い(オンライン開催も含む)ではチャイルドサポーター事務局からの

活動報告や音楽ゲストが参加する場合があります。開催のご相談は最寄りのハンガーゼロ事務所まで。

●ハンガーゼロ親善大使

さまざまな音楽シーンで活躍されている親善大使の皆さんがチャリティーなどの催しに出演していただきます。詳しくは、東京事務所までお問い合わせください。



募金を “始める”

- 「ハンガーゼロサポーター」になる。(一口1000円/月)
 - 「チャイルドサポーター」になる。(子ども一人4000円/月)
 - 「JIFHサポーター」になる。(一口500円/月)
 - 「海外スタッフサポーター」になる。(一口1000円/月)
- 他「Tポイント募金」Tカードの保有ポイントで募金する。
「つながる募金」スマホやPCから支援する。



Okuda DESIGN PROJECT 施工例
ガレージハウス富士見平

Okuda DESIGN PROJECT

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—



インターネットでお部屋探し。

www.okuda-re.co.jp

代表取締役社長 奥田 英男
〒197-0003 東京都福生市熊川 447-9

042(552)0102(代)



1頭のヤギが変えた アリスさんの人生

ウガンダからの報告

FH= 国際飢餓対策機構

アリスの両親は2000年に2人とも亡くなり、アリスと4人の兄弟姉妹は学校を中退して叔父の家に引き取られました。しかし叔父は実子を含めて10人の子どもを持つことになり、結局アリスは祖父母と暮らし始めましたが、そこの生活も厳しいものでした。

1日に1食しか食べられず、学費や医療費はほとんどありませんでした。アリスは学校を中退しなければならなくなるのではないかと心配で、「なぜ私たちはこんな目にあうの」と毎日神様に涙で訴えていました。

2010年、アリスのコミュニティでFHがチャイルドサポーターのプログラムを始め、アリスは地域の他の子どもや若者たちと共に支援を受けました。ただ学校中退の恐れは続いていました。翌年、アリスはFHから雌のヤギを1頭受け取りました。そこからあらゆることが変わり始めたのです。

プロの仕立て屋として自立の道を歩み始める

アリスはその1頭のヤギを7頭に増やしました。2016年には彼女はヤギの売り上げから学費を払い、貯蓄もできました。「神様はわたしの祈りを聞いて希望を取り戻させてくださいました」とアリスは言っています。



その後の彼女の生活は順調で、ヤギは現在も彼女にとって非常に大切な助けになっています。彼女のヤギは多い時には20頭を数えました。そのう

ちの6頭は死にましたが、生計を支えるには十分でした。最も重要なことはヤギが彼女の生活に選択肢を与えたことです。

アリスは以前、看護師になることを夢見ていましたが、仕立屋として訓練を受けることに方向転換しました。彼女は仕立てコースの授業料のためにヤギを10頭売りました。今はプロの仕立屋です。さらにヤギを売ることによって、食べ物やその他の必需品を購入することができています。

最近アリスは結婚して5カ月の娘の母親になりました。彼女はもはやサポートチャイルドではありませんが、他の家族と共にFHスタッフから新型コロナウイルスの予防法について聞きました。コロナウイルスと戦うことは、ソーシャルディスタンスをとるといった戦いだけでありません。ロックダウンで食料価格が高騰、また仕事を見つけるのも難しくなって、世帯収入が減少しています。幸いなことに、アリスの家族には換金できるヤギがあり、しかも現在いる5頭とも出産予定です！

アリスが家族を養えるようになったのは1頭のヤギからですが、チャイルドサポーターの支援がそれを可能にしました。10代の若者たちが大人へと成長するのを助けるために、現地スタッフは学生が将来の岐路に直面した時、寄り添い、助言し、励まします。アリスのように将来への希望と選択肢を得た若者がこれからも増えていくように、子どもたちのサポーターになっていただければ幸いです。

次の2月号は「チャイルドサポーター特集号」となります



コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。
ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右QRコードから
郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記
募金集計：12月10日現在で約780万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに



2020年世界食料デーに合わせて応援

「強くて優しい人になる」

● Cafe&Bar Pokkur 小笠原功久さん

森をイメージした落ち着いた雰囲気の中で 60 年代の洋楽に包まれ、自家製の美味しいパスタがいただけるポックルさん。お客様の好みに合わせてパスタの太さ、種類を選べる粋なお店です。

オーナーの小笠原さんは、“食”に関わる中で飢餓問題と無関係ではないと思う様になり、毎月の売り上げの一部をさまざまな団体に寄付しておられ、2020年の10月は、

ハンガーゼロに寄付をしてくださいました。

「飢餓についてニュースで見たことはあるのですが、どこか他人事でした。今も自分事として捉えて



いるというよりは、そう思えないからこそ、まずは行動してみることで知るきっかけになったり、関わるきっかけになったりすると思って始めました。自分の人生の軸に『強くて優しい人になる』というのがあるんですが、寄付をすることで自分の内面に起きる変化に期待していますし、ゆくゆくは世界の問題にも関心を持てる人になれたらいいなと思います。」とのこと。

ぜひ、ポックルさんでステキなひと時を過ごしてみてください。

Cafe&Bar Pokkur [カフェ&バー ポックル]

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-33-11 めぞん・ど・ふるーる 1F
電話番号：03(6912)2970

URL: <https://cafebarpokkur.wixsite.com/since20150615>

沖縄の飲食店や空港ターミナルに

「募金箱を置いています」

沖縄で長い間、飲食店等のカウンター等に置いてご協力いただいていた“地球型募金箱”が古くなったこと、ロゴも変わったのでアクリル募金箱に交換をさせていただいています。



嘉手納町にある『海が見えるそば家』(写真⑤)では、新たに募金箱を設置してくださいました。デジタル化が進み、「現金を使わなくなった。」「買い物をするもおつりが出ない。」等の声も聞こえてきますが、募金箱はお店と地域、飢餓の現場を繋ぐ大切な働きをしています。

北谷町の美浜にある『レストラ

ントニーローマ』では、20年以上も前から募金箱を置いてくださっています。

本部町の『アイスクリン cafe アーク』(写真⑥上)も数年前からの協力店です。



また久米島空港ターミナルの売店、『お土産のくめじま屋』(写真⑥下)の前のカウンターには、何年にも



わたりハンガーゼロ募金箱やニュースレター、パンフレット等を置いてくださっています。皆さんが自分にできることをして『世界が変わる』一歩を実践されています。

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう



皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。



一般財団法人日本国際飢餓対策機構 堀内 顕 創立理事長が逝去

1981年の設立以来、理事長(2010年まで)として当機構に多大な貢献をされました堀内顕氏(グレース宣教会長老牧師)が、12月11日慢性腎不全のためご逝去されました。葬儀は近親者のみで執り行われました。つきましては、所属教会と社会福祉法人、当機構による合同記念会(仮称)が行われる予定です。職員一同、心より哀悼の意を捧げます。

2面に当機構清家理事長の追悼を掲載

協力企業のキングダムビジネスのフェアトレード商品ご購入を通して、ご支援くださりありがとうございました。新年もよろしくお申し込み申し上げます。



「ココアとチョコのセット」

フェアトレード食品

① チョコレート 380円(3個)

¥1,140 内容はおまかせ

② ココア 780円(1袋)

梱包送料 520円

①②セット合計 2,500円でお届け(日本全国同一価格)

*1セットにつきアフリカ支援として60円をハンガーゼロに募金します。

【お支払い】後払い

お申し込み:

(株)キングダムビジネス
スマートフォンは右の
QRコードから



電話注文: 06-6755-4877

各種手続きにお時間を いただいております

当機構各事務所では全国的なコロナウィルスの感染拡大に対処するため、12月から今年2回目のテレワークを実施いたしました。このため、支援者の皆様への電話対応・領収証の発行・支援申し込み手続きなどで、通常よりお時間をいただいております。

ご理解のほどお願い申し上げます。なおお急ぎのご用件の場合は、お電話でご相談ください。(事務局)

「2020年クリスマス募金」

1月末まで受付させていただいております。皆様のご支援を心より感謝申し上げます。



ハンガーゼロの LINEを開設!!

より幅広く多くの方々に情報をお届けできるように、ハンガーゼロのLINEを新たに開設しました。

見逃せないイベント情報や、世界の状況などをわかりやすく発信していきますので、是非お友だち登録よろしくお申し込みください!

拡散・シェアもどんどんしていただくと嬉しいです。

ご登録は右のQRコードまたはIDから @hungerzero で検索。



※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

サポーターお申し込み欄 FAX072-920-2155

氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 366号

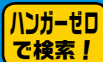
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送ってください。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送ってください。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **4917** 口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
(広島) TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
(東北) TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾンク米202号
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター